

峰高同窓会報

2009 No.8

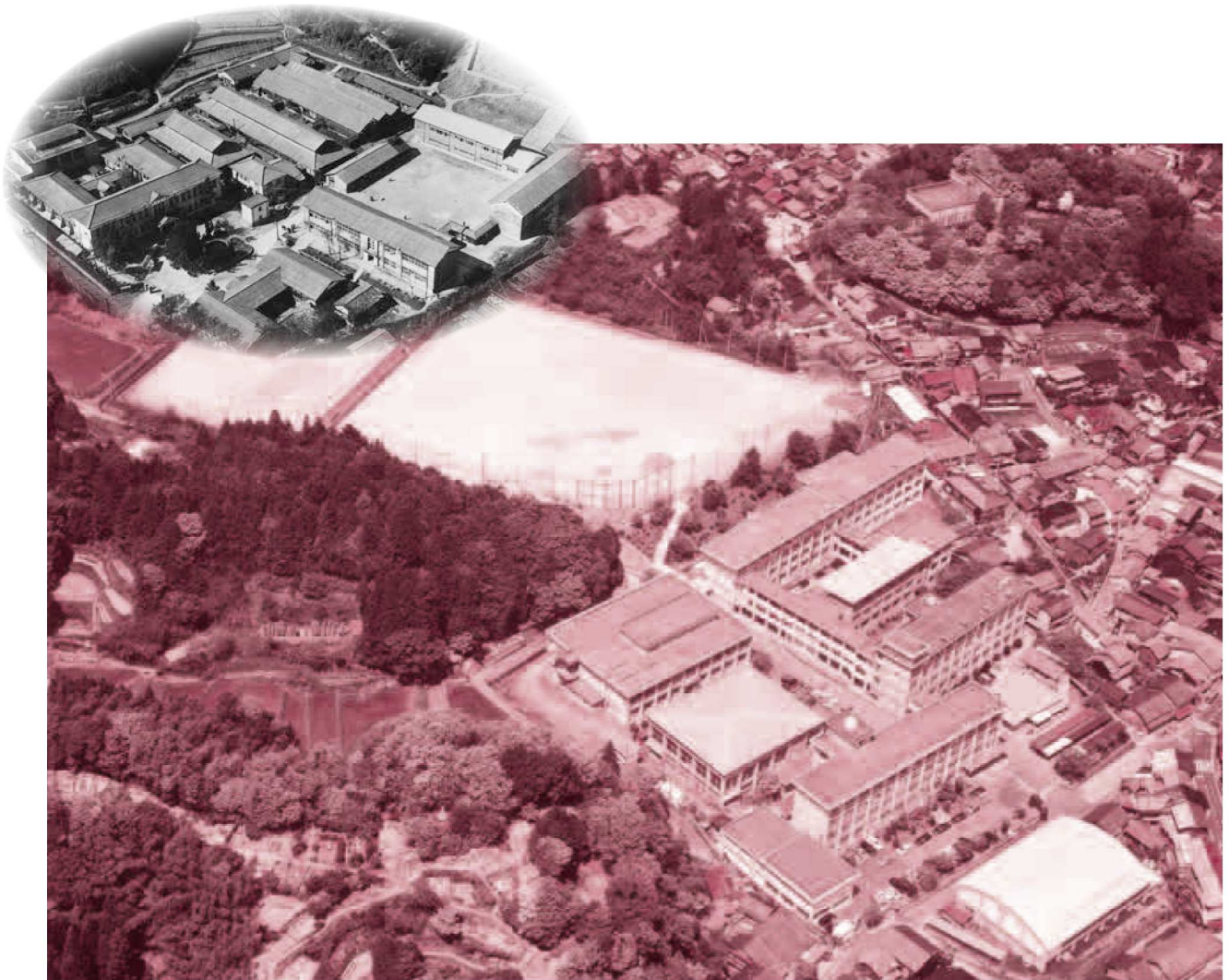
発行：平成21年11月

デザイン・印刷

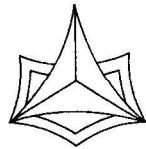
SALAT 株式会社 サラト

兵庫県姫路市北条宮の町172 Tel 079-284-1380

<http://www.salat.co.jp/> Fax 079-224-7746



上：昭和30年頃の峰高全景 下：現在の峰高全景



京都府立峰山高等学校同窓会

〒627-8688 京都府京丹後市峰山町古殿1185

TEL 0772(62)1012

FAX 0772(62)1013



同窓会会長
今西 仁

HITOSHI IMANISHI

同窓会を通して温かい交流を

今年の夏は、雨続きで例年にない年でした。26,813名の同窓会員の皆様にはお元気で各方面で御活躍されている事と心からお喜び申し上げます。

本年4月に総会を持ちまして、引き続き会長に指名いただきました。新しい人事のもとで会の充実、改善を目指し役員一同一体となって精一杯努力させていただきたいと思っております。会員の皆様にも更なる助言、御協力を仰ぎたいと思っております。

峰山高校では人に愛され、尊敬され信頼される人間作りに頑張っていたいただき、スポーツ、文化面でも素晴らしい成績を取め活躍されて

います。

世の中は政治の混乱や経済の低迷。各種の不祥事など、暗い事件が続発する時代、人間関係が疎遠になりがちになります。この時こそ同窓会を通して温かい人間交流が計られる事は大変有意義なことと思っております。人は、人との交わりの中でこそ人間として成長することができるのです。

同窓会の皆様、力を合わせて朗らかに明るく元気よく活躍しようではありませんか。

最後に本校の発展と同窓会の皆様の御活躍を心からお祈り申し上げ御挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ

国内外26,813名の同窓会員の皆様方には、御健勝にて御活躍のこととお喜び申し上げます。本校の教育の発展のために、日頃から多大な御支援、御協力を賜っておりますことに心からお礼申し上げます。

平成20年度より人事異動により、創立87年という長い歴史と伝統ある本校の校長職を拝命しました。本校生徒の社会に通じる人間力アップのため、微力ですが精一杯努力を重ねています。どうぞ今後ともよろしくお願ひします。本校の様子はインターネット上のホームページで常時更新し、紹介しています。是非御覧ください。

さて、本校は大正11年、府立工業高校・大正3年、町立峰山女学校が創立され、昭和23年、府立峰山工業高校、府立峰山高校が統合され創立87年目を迎えています。(統合

後61年目)

生徒数は本校778名弥栄分校99名の計877名、「全教育活動をとおして、生徒・教職員がともに成就感と感動を味わえる、明るくさわやかな学校づくり」を合い言葉に教職員一丸となり頑張っています。

丹後地域は過疎化がますます進み、子供の数もどんどん減っています。ここ数年の内に、小・中・高校を問わず、学校再編成もなされるかもしれません。しかし、そうした状況下にあっても峰山高校は京丹後市の中心の学校として今以上に存在価値を高めるものと思ひます。

どうか、今後とも母校に対する変わらぬ御支援、御鞭撻をお願い申し上げますとともに会員の皆様の益々の御発展と御多幸をお祈り申し上げ御挨拶とさせていただきます。



校長
本井 裕

YUTAKA MOTOI

学校だより

現在、峰山高等学校の本校では、第一学年が普通科Ⅰ類4クラス、Ⅱ類1クラスまた本年度より学科変更された産業工学科1クラスの合計6クラスから成り立っています。第二学年はⅠ類4クラス、Ⅱ類1クラスそして繊維デザイン科及び機械システム科各1クラスの計7クラスから成っています。また第三学年はⅠ類5クラスⅡ類1クラスそして繊維デザイン科および機

械システム科各1クラスの計8クラスから成っており合計778名の生徒が学習に部活にと活発に活動を行っています。

特に本校の進学実績や就職状況、さらにはクラブ活動の対外試合結果の状況は優れておりその活躍の一部を披露したいと思います。
(本校 副校長 奥野正宜記)

クラブ活動状況 (21年度)

両丹総合体育大会で本校男子は総合3位に輝きました！

- 1位：テニス部男子・サッカー部・体操部女子・野球部(公開競技)
- 2位：陸上競技部男子・バスケットボール部男子上級・卓球部女子下級



荻野賢次郎君

- ① 3年8組荻野賢次郎君がU-18 (FIFA U-20ワールドカップ)の日本代表に決定しました。
- ② 3年6組坪倉司弥君がやり投で全国高等学校陸上選手権大会に出場しました。
- ③ 3年8組辻早紀さんが全国高等学校総合文化祭に作品展示されました。
- ④ 1年1組中村悠真君がインドで開催のJOCジュニアオリンピックカップへ出場しました。



1号館に掲げられた4出場選手の垂れ幕



わかさ(西京極)球場の野球部



北部発表会の吹奏楽部



試合で励まし合うソフト部員

体育系 15クラブ

バドミントン部・レスリング部・テニス部・ソフトテニス部
ソフトボール部・サッカー部・剣道部・スキー部・体操部・陸上競技部
バスケットボール部・バレーボール部・卓球部・野球部・少林寺拳法同好会

文化系 14クラブ

アニメーション部・ロボット研究部・写真部・地学研究部・華道部
茶道部・演劇部・美術部・軽音楽部・ESS・書道部・吹奏楽部
化学研究部・手話同好会

峰高祭の活動(21年度)

平成21年度峰高祭は、9月1日と2日に「文化の部」、3日に「体育の部」が連続して開催されました。

夏休み中から準備を重ねてきた演劇やステージ企画の踊りの演技や体育祭の全力疾走に峰山高校生のエネルギーを発散しました。



小むかでリレー

体育館でのヨサコイ踊り

体育祭の部の開会式



峰高祭の校門アーチ



銀座通りでの開会式



P.T.A主催の模擬店

進路実績(平成21年3月卒業生)

進学

■国公立大学(合格延数35名)

京都大(3)、大阪大(1)、京都教育大(1)、京都府立医大(1)、京都府立大(3)、大阪府立大(1)、大阪教育大(1)、神戸市外大(2)、兵庫県立大(1)、和歌山大(1)、秋田大(1)、横浜市立大(1)、信州大(1)、金沢大(1)、金沢美術工芸大(1)、岡山大(2)、鳥取大(3)、山口大(1)、徳島大(2)、沖縄県立芸大(1) など

■私立大学(合格延数203名)

早稲田大(5)、慶應義塾大(1)、東京理科大(4)、明治大(3)、同志社大(11)、立命館大(23)、関西学院大(10)、関西大(6)、龍谷大(10)、京都産業大(15)、佛教大(11)、近畿大(3) など

■短期大学(合格延数38名)

三重短大(3)、島根県大短大部(2)、華頂短大(5)、京都外語短大(1)、京都女子大短大部(2)、龍谷大短大部(3)、京都文教短大(3)、関西外大短大部(1) など

■専修・各種学校(合格延数74名)

京都第二赤十字看護専門学校(1)、舞鶴医療センター付属看護学校(3)、京都府立看護学校(3)、公立南丹看護専門学校(5)、近畿大学附属看護専門学校(1)、京都職業能力開発短期大学校(3) など

進 学	4 大	国公立大	34
		私立大	79
	短 大	国公立大	5
		私立大	24
		専門・各種学校	57
		その他	14
就 職	民間会社		45
	公務員		1
	その他		5
		合計	264

就職

■地元の主な就職先

(株)日進製作所(3)、(株)積進(2)、(株)タンゴ技研(1)、(株)日昌製作所(1)、ゲンゼ(株)(1)、(株)ホテル北野屋(2)、(株)文珠荘(1)、丹後大宮福祉会おのみや苑(1)、あしぎぬ福祉会満寿園(1) など

■地元以外の主な就職先

清仁会シミズ病院(2)、三菱自動車工業(株)(1)、(株)渡月亭(1)、関西電力(株)(1)、(株)小松製作所(1)、トヨタ自動車(株)(1) など

■公務員

京丹後市消防官(1)

弥栄分校だより

4月の3年生の修学旅行に始まり5月の総体など学校行事や多くの専門学科の実習をとおして生徒達は日々成長しています。夏休みには、京都府農業クラブ連盟大会の会場校として代表挨拶や総合司会など大会運営を成功に導きました。京都府高校生環境サミットに3年生6名が代表で参加し実践発表と意見交流をしました。2学期には学校祭「文化の部」「体育の部」では、限られた準備期間にもかかわらず、生徒全員が一丸となって演技や競技をし、素晴らしい感動を与えてくれました。10月には弥栄分校の最大の行事として、農園芸科の収穫祭や家政科のファッションショーを中心とした「奈具丘祭」を実施しました。

(弥栄分校 副校長 野田啓二 記)



浴衣の日の集合写真



京都府農業クラブ連盟大会



在職時代を最上純男(昭和32年卒)より



同級生の帰ってこないかの誘いで、会社をやめて機械科にお世話になったのが昭和40年。まだ、教えてもらった先生も大勢おられたし、高校時代に学んだなつかしい校舎や建物がそのまま残っていました。ただ、一棟だけ鉄筋3階建(3号館)の校舎と新体育館ができていました。

当時は、技術者養成の全盛期であり、普通科でも技術に関する単位を選択できるような、カリキュラムが模索されていました。1クラスの人数も工業科は40名、普通科では50名を超えてたように思います。機械科に籍をおきながら、3年の電気(機械科は3単位、紡織科・工業化学科は2単位)を担当していました。急速な技術革新のながれとともに、学習内容も変

わりだし、紡織科が繊維工学科と改称をかわきりに、機械科も2クラスから1クラスとなり、工業科だけでなく、普通科も含め高等学校の有り様が少しずつ変わりはじめたのが、50年ころだったと思います。

教職生活34年のうち、峰高で19年(工業科14年、数学科5年)にわたって教壇にたちました。その間、もちろん、苦い経験も含め、思い出はたくさんありますが、私が学んだ一番大切なことは、教師は、生徒の将来の生き方に深く関わっている職業であることを生徒から教えられたことです。それが、私のその後の教師生活の要になりました。

着任当時の生徒も、もう還暦を迎える年齢になっています。光陰矢のごとしとはよく言ったものだと身をもって感じるこのごろです。

同窓生からのたより



空手道に出会って

昭和29年卒 三本 同

母校を巣立って55年、振り返る人生は短いとつくづく感じるこの頃です。

高校時代は柔道とテニスに夢中で、さしたる勉強もしなかった私の入学を許してくれたのは立命館大学理工学部土木科でした。

将来は土木技術者として工事現場の気の荒い人達と一緒に働くことになるのだから、腕力に自信とここ一番の度胸を養っておきたいと考え、荒稽古で名高い空手道部に入部し汗と涙の練習に明け暮れました。

主将となった4回生の春、全国初の公式戦「第1回全日本学生個人選手権」が開かれ、幸運にも初代チャンピオンの座に着きました。

これにより「自分は空手界の象徴だから、斯界の名誉に懸けて人後に落ちぬ人物と成らねばならぬ。」使命感を覚え、自身の立ち位置に目覚めました。

小さな一言ですが、私の生涯には「たかが空手されど空手」であり、些細なことでも自信に繋がれば、大きなエネルギーを発揮することを知りました。

武道修練の過程には、守・破・離の訓(教え)があり、「守」は伝承技を固く守って恣意を許さぬ基本を学ぶこと、「破」は基本技の反復練習によって自身の個性を自覚し、基本の殻を破って独自の技と思考法を創造すること、「離」は修練に修練を重ねて旧を離れ、自主独立の道を拓いて発展することです。

この訓は、単に武道に止まらず人間社会のあらゆる学習の基本姿勢であります。空手道によって之を叩き込まれた私は、会社勤務においてもこの訓を忘れず務め、お陰で恵まれて楽しいサラリーマン生活を送ることが出来ました。

50歳を前に次期役員の内示を受けましたが、会社役員と空手役員を兼務すれば、どちらかが疎かになることもあるかと案じ、惜しまれつつ26年間奉職した建設会社を辞して予備校

経営に身を転じ、本業と空手道が逆転する生活となりました。

ですが、もともと私の活力は空手道がくれたものであれば、貧しくとも斯道と共に歩む人生を選択したことに悔いはありません。

後輩の皆様には、是非、自分を発憤させる材料を掴んで大きく羽ばたいて頂きたいと願っています。

雪国育ちは、ともすれば控えめとなる傾向がありますが、その代わり運鈍根という素晴らしい特性を持っています。人間の潜在能力は地域や国によって差異があるものではなく、要はやる気があるか無いかの問題です。

若い皆様には、勇気と決断を持って逞しく挑戦して頂きたいと期待を込めて心から声援を送りたいと思います。

(研学キャンパス学校長・日本オリンピック委員会委員・京都府空手道連盟会長を歴任され、スポーツ振興の功績により「旭日双光章」を受章されました。)



丹後の空が好き・空気が好き

昭和52年卒 芦田久美子

京都と丹後を往復しながら、月に一度、ツアーコンダクターとして海外パッケターの添乗を続けている。今月は北欧へでかける。飛行機に乗るとなんだかほっとする。子どもの頃から高いところが好きだった。高校生になると学校の屋上が好きだった。屋上から見る空は広がった。吹き抜ける風に乗ってどこにでも飛んでいけそうだった。晩秋になると丹後ではうらにしの天気。青空も白い雲も不機嫌な濃い灰色の雲も同居している。雨、晴れ、曇り、雪が1日のうちに訪れる。そんなころころかわる暗い冬を長く過ごす丹後の人は、温かく正直だ。私が好きなアイルランドもそんな土地や人々である。しかし、世界中を旅してやっぱり一番好きな場所は丹後である。今もう一度丹後のことを深く知りたいと思う今日この頃である。

同窓会ニュース

開催年	開催日	記念同窓会名称	場所
平成16年	5月4日	昭和44年卒業生 35周年記念同窓会	プラザホテル吉翠苑
	5月20日	昭和18年卒業生 峰山工業学校同窓会	宮津文珠 天橋立ホテル
	11月7日	昭和46年入学同年会 昭和49年卒業生 30周年記念同窓会	プラザホテル吉翠苑
平成18年	1月2日	昭和47年入学同年会 昭和50年卒業生 30周年記念同窓会	プラザホテル吉翠苑
	9月23日	昭和41年卒業生 40周年記念同窓会	プラザホテル吉翠苑
平成19年	1月2日	昭和48年入学同年会 昭和51年卒業生 30周年記念同窓会	プラザホテル吉翠苑
	10月4日	昭和20年卒業生 峰山工業学校同窓会	明石海峡大橋畔舞子ビラ
平成20年	1月2日	昭和49年入学同年会 昭和52年卒業生 30周年記念同窓会	プラザホテル吉翠苑
	6月15日	昭和33年卒業生 50周年記念同窓会	プラザホテル吉翠苑
	9月12日	昭和43年卒業生 40周年記念同窓会	プラザホテル吉翠苑
平成21年	1月2日	昭和50年入学同年会 昭和53年卒業生 30周年記念同窓会	プラザホテル吉翠苑
	6月2日	昭和34年卒業生 50周年記念同窓会	京都ライオンホテル

S20年卒

峰工(20回卒)同窓会



平成19年10月4日 府立工業学校 同窓会

昭和20年卒業生 小国 辰男

明石海峡大橋畔“舞子ビラ”にて久しぶりに同級会を開催した。卒業時58人の内、35名が死亡。現在23名も病人や通院中が半数。京阪神から4人と丹後から2人が懐かしい顔を合わせた。積もる昔話が杯を交わすにつれ益々盛り上がり同級生一人一人の特徴や面影、担任であった黒ブチめがねでずんぐりの高瀬先生、スマートな辻先生、その他諸先生のアダ名や特徴、小浜まで自転車で行った海水浴、冬のスキー・雪中行軍・暗いうちからの寒稽古等々話は尽きずアツという間に時間が過ぎていって残る思いでは是非とも次回でと散会した。

S34年卒

50周年同窓会 昭和34年卒業生

平成21年6月2日
京都ライオンホテル



S51年卒

30周年同窓会 卒業30年を迎えて

昭和51年卒業生 京崎 操

ついこの間、峰山高校を卒業したような気持ちでいたのですが、思えばもう30年！卒業以来一度も出会っていない同級生との再会で、あまりの変化に驚いたり。立派な姿に頼もしく思ったり。でも話をし始めると、やはり当時の顔になり、



平成19年1月2日 プラザホテル吉翠苑

クラスごとのテーブルは、それぞれなつかしい思い出話に花が咲き、ひじょうに盛り上がった同窓会となりました。

S53年卒

卒業30周年を記念して

昭和53年卒業生 平井 良行

皆さんお元気ですか。峰山高校を卒業して30年がたちました。故郷を離れた人、故郷で生活している人、それぞれが歩んだ30年です。この30年という節目の時に、多くの人のご協力、ご支援により記念の同窓会を開催することができました。青春時代の思い出や人生への思いを語り合



平成21年1月2日 プラザホテル吉翠苑

たことは、大きな励みとなり、仲間としての絆を確認し、人生にとって大きな財産となりました。

再会を楽しみにしながら、これからも元気でがんばりましょう。

各支部だより



本部だより

第9回本部(幹事)総会を、平成21年4月29日、峰山町のプラザホテル吉翠苑にて行いました。総会には幹事、各支部の役員の御出席により、役員の改選ならびに事業・会計・監査の承認を受けました。

その後、懇親会では今西仁会長、本井裕峰山高校校長先生の挨拶の後、井塚義人京都支部長の乾杯で始まり、出席者のそれぞれが交友を深め、歓談のもと、岡田孝行大阪支部長の万歳三唱で総会が盛会の内に開きとなりました。



京都支部だより

昭和33年卒業 京都支部長 井塚 義人

京都支部は主に京都府内綾部市以南、及び近畿付近に移住しておられる同窓会員で構成されています。

平成4年に設立され、以降毎年2月に総会を開催しています。総会への参加は年令による規制を行っており、来年(平成22年)2月に開催する第19回総会には昭和55年卒業生までを対象として現在準備中です。総会には例年300名以上の方々にご出席を頂いておりますが、今後とも盛会が続きますよう皆様方の御協力をよろしくお願い申し上げます。



大阪支部だより

昭和33年卒業 大阪支部長 岡田 孝行

今年、第50回大阪支部総会の時には皆様大変お世話になりました。次期支部総会は平成22年1月31日に開催の予定としております。例年より遅い日程になりますが皆様の一人ひとりの呼びかけで沢山の参加になりますようよろしくお願い致します。



関東支部だより

昭和29年卒業 関東支部長 富田 栄一

最近、諸先輩・後輩の諸氏から関東地区峰高同窓会はどうなっているのか、加えて峰高同窓会の関係諸氏からも同様の問い合わせが多数参っております。

幹事の怠慢、心からお詫び申し上げます。

幹事及び有志の皆さんと話し合いを持ちました結果、

早々に10年ぶりの同窓会を開こうじゃないかと意見が一致しました。

来年の年明けを目標に準備を進めております。近々御案内を出しますのでご覧になり、是非参加をお願いいたします。

問い合わせ先 富田 TEL 03-3581-0829 (昼間)まで

～ 新役員の紹介 ～

平成21年4月29日に第9回同窓会本部(幹事)総会で、次の方々が新役員として承認されました。

(任期3年 理事・庶務・会計・監査は会長が委嘱)

(21年度～3年間)

		氏名	卒年
同窓会本部	会長	今西仁	33
	副会長	伊藤紀久代	34
	〃	中川芳隆	36
	〃	森米子	38
	〃	谷口正春	43
	〃	野木三司	48
	理事	奥野俊夫	40
	〃	赤岩邦子	40
	〃	池田勇一郎	43
	〃	馬淵敏子	43
	〃	櫛田恵里子	45
	〃	小池君男	46
	〃	中村雅	48
	〃	岩本敦子	48
	〃	今井政晴	49
	〃	小牧敬典	54
	庶務	岸田守行	45
	〃	井上繁之	52
	〃	日達誉之	55
	〃	行待利康	平元
〃	白岩志朗	平3	
会計	中西美恵了	44	
監査	木村成信	36	
〃	平田貫治	43	
顧問	垣中均	33	
京都支部	支部長	井塚義人	33
	副支部長	平井義昌	30
	〃	藤原美代乃	33
	事務局長	田中賢一	47
	相談役	中西信八朗	23
	〃	小林寛明	27
大阪支部	〃	三本同	29
	支部長	岡田孝行	33
	副支部長	真柴誠市	45
	〃	木上宗則	46
	常任幹事	藤本かよ	41
	相談役	平井義太郎	20
	〃	小林亮三	24
	〃	矢谷吉郎	30
関東支部	〃	衣川京子	30
	支部長	富田栄一	29
	副支部長	寺田斐夫	28
〃	安藤詢子	28	

事務局からのお知らせ

平成24年に、開校90周年となります。記念事業として同窓会会員名簿の発行を予定しております。名簿の管理・同窓会会報については、**(株)サラト**に委託しております。同窓会会報・会員名簿が会員相互の絆となりますよう**発行に向けて、名簿記載に関する調査をいたします際には皆様の御理解、御協力を御願いたします。**

名簿は悪用無きよう、御使用いただき不審な電話や文書には注意してください。文書には必ず会長名、校章を入れております。

会報賛助金のお願い

この会報は、皆様の賛助金を頼りに発行しております。会報の継続的な発行のため、賛助金への御協力をよろしくお願いたします。

1口 2,000円

御送金は、同封の郵便振込用紙をご利用下さい。
(振込手数料は不要)

編集後記

久々の会報発行となりました。会員の相互交流の場として、あるいは近況を語る場として活用していただければ幸いです。3年に一度のペースですが、引き続き発行に努めたいと思います。

今年4月には第9回の本部総会が開催され、平成24年に迎える峰山高校創立90周年が大きな話題として浮上してきました。皆様方の熱意を3年後に向け集約したいと、鋭意、準備を進めています。

会報発行にあたり、今回もまた多くの皆さんから原稿をお寄せいただきました。厚くお礼申し上げます。2色刷で読みやすく、また写真を多用するなど親しまれる同窓会報にしようと思気込んでいますが、ご要望等がありましたら、是非、お寄せいただきたいと思います。

2万6千人を超える大きな世帯の同窓会となりましたが、皆様方お一人おひとりの力で支えられる同窓会でもあります。引き続きのご支援ご協力を切にお願い申し上げます。

終わりになりましたが、皆様方のご健勝とますますのご活躍を心からお祈り申し上げます。